



第108期 中間期 事業のご報告

2019年4月1日 ~ 2019年9月30日



株主の皆様へ



取締役社長 後藤 宗利

取締役会長 後藤 昌彦

第108期(2020年3月期)中間期の事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申し上げます。

■当中間期の概要と当社グループの主な取り組み

当中間期の国際的な経済情勢を見ますと、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱を巡る混乱など先行きに関する不透明感が高まり、企業の景況感が悪化していく中で、世界経済の減速感が強まりました。

このような情勢の中で当社グループは、開発面では、さらなるハイパワー・長寿命・高耐久を実現した「40Vmax リチウムイオンバッテリー」を使用する新たな充電式工具シリーズをはじめ、AC機同等以上の作業効率を実現した充電式工具、エンジン式同等の使用感を持つ充電式園芸用機器など、リチウムイオンバッテリー製品のラインアップ拡充に注力しました。

生産面では、グローバル生産の多極化の推進、部材の現地調達をはじめとするコストダウン、省人化・無人化設備の導入などの取り組みを継続しました。

営業面では、充電式の園芸用機器をはじめとするリチ



ウムイオンバッテリー製品の拡販に注力したほか、販売・サービスの拠点を拡充し、地域・顧客密着型の営業体制の強化を進めました。

■中間期として3期連続の増収、売上は過去最高を更新

当中間期の当社グループの連結業績は、為替による海外売上の目減りなどがあったものの、主に国内の販売が好調に推移したことから、売上収益は前年同期比0.3%増の243,547百万円となりました。利益面においては、販売費及び一般管理費等の増加や為替の影響による原価率の上昇などの影響から、営業利益は前年同期比19.1%減の32,416百万円(営業利益率13.3%)となりました。税引前四半期利益は前年同期比18.4%減の34,475百万円(税引前四半期利益率14.2%)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は15.8%減の24,979百万円(親会社の所有者に帰属する四半期利益率10.2%)となりました。

■中間配当金は1株につき10円

当社は、年間配当金10円を下限とし、連結配当性向30%以上とすることを利益配分の基本方針としております。当期の中間配当金につきましては、1株につき10円とさせていただきます。

期末配当金につきましては、当期の業績が確定する来年4月下旬開催の取締役会において、上記の配当方針に従って配当額を決定し、株主総会において皆様にご審議いただく予定でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

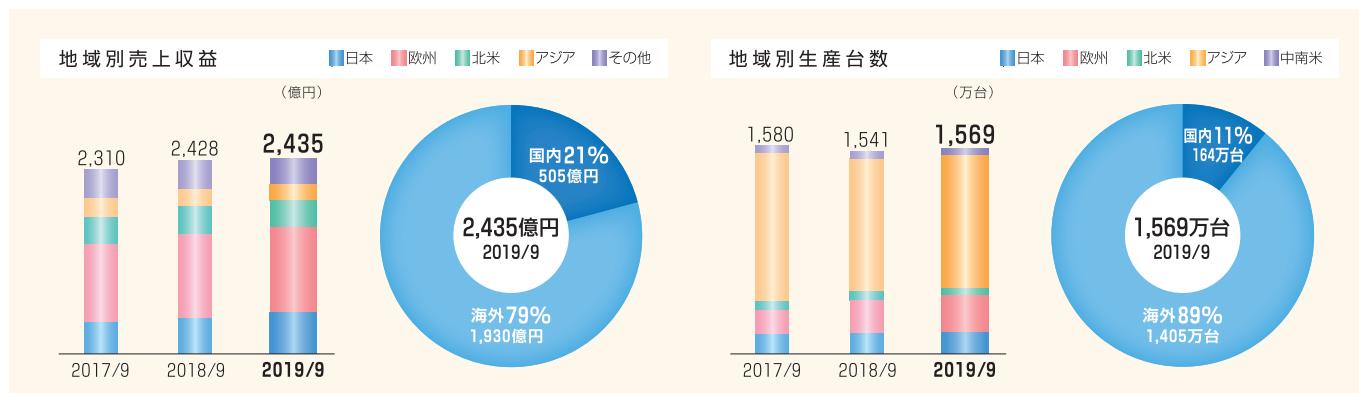


主な経営指標 (IFRS)

(単位：百万円)

	2017年9月中間期	2018年9月中間期	2019年9月中間期	増減率(%)	2019年3月期
売上収益	230,951	242,796	243,547	0.3	490,578
営業利益	37,934	40,064	32,416	△19.1	78,305
営業利益率	16.4%	16.5%	13.3%	—	16.0%
税引前利益	38,996	42,269	34,475	△18.4	79,919
親会社の所有者に帰属する四半期利益	27,348	29,679	24,979	△15.8	55,750
親会社の所有者に帰属する四半期利益率	11.8%	12.2%	10.2%	—	11.4%
資本合計	542,681	570,032	564,113	△1.0	577,222
資産合計	638,363	660,917	675,339	2.2	680,250
親会社所有者帰属持分比率	84.3%	85.6%	82.9%	—	84.2%
設備投資額	7,722	12,106	16,839	39.1	23,867
減価償却費	5,186	5,575	6,065	8.8	11,271
研究開発費	5,433	5,391	5,706	5.8	11,258
従業員数(人)	15,976	16,087	16,908	5.1	16,424
基本的1株当たり四半期利益(円)	100.7	109.3	92.0	△15.8	205.4
1株当たり配当金(円)	10.0	10.0	10.0	—	62.0

(注)上記およびこの報告書に記載している金額は原則として百万円未満を四捨五入して表示しています。



トピックス

マキタ・コロンビア 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で充電製品を供与

3月19日、在コロンビア日本国大使公邸において「草の根・人間の安全保障無償資金協力」に基づき日本国政府よりカカオ乾燥施設、当社充電式せん定ハサミ4台及び充電式チェンソー2台等を先住民族アルアコ族に対し供与する署名式が執り行われ、機材供給メーカーとして当社も同式典に招待されました。

元来同部族は山麓にて希少カカオを栽培しながら生活していましたが、1990年以降ゲリラに強制的に山腹に追い出されたことで多くの木が手つかずのままとなりました。和平合意後、日本国政府の協力を得てカカオ農地の再生を目指すこととなりましたが、山岳信仰のある同民族はエンジン製品を山に持ち込めないため、ゼロエミッションを掲げる当社充電製品に白羽の矢が立ちました。式典では森下特命全権大使、アルアコ部族長に実演を行っていただき、会場からは万雷の拍手をいただきました。

また10月23日、本プロジェクトの供与式がサンタマルタのアルアコ族の集落で執り行われ、正式に日本国政府より供与品がアルアコ族に引き渡されました。

これを機に今後も同国での販売・アフターサービス体制を強化するとともに、お客様との結びつきを深め、より高いブランド力の構築に努めてまいります。



▲署名式の様子



▲カカオ農地で作業をするアルアコ部族

ルーマニア工場 大型充電OPE製品の生産を見据えた第4期棟完成



▲完成した第4期棟

生産能力拡大のため、昨年5月より増築工事を進めてきたルーマニア工場の第4期棟が完成しました。

第4期棟は当面倉庫スペースとして活用予定で、今後の生産拡大に向けた倉庫能力拡大、補修部品の供給機能拡充を目指し、その役割を担っていきます。また、将来的には大型充電OPE製品(園芸用機器)の生産を見据えた構想も進めています。

今後も欧州の中核工場として、さらなる品質管理の強化に努めるとともに需要環境の変化に対応した生産を行ってまいります。

新製品ダイジェスト

■165mm充電式スライドマルノコ LS610D



各部の剛性を追求し高耐久
高精度な切断を実現



“高耐久”
リニアボール
ベアリング×2個



“太径に変更”
スライドボール
従来 20mmボール径
→ 25mmボール径

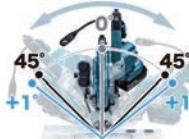


“高剛性”
傾斜角度調整部



“肉厚”
ガイドフェンスで
剛性アップ
従来 4mmフェンス
→ 10mmフェンス

左右45°+1°の両傾斜切断可能
左右45°+1°の両傾斜機能
により、部材を反転させるこ
となく傾斜切断が可能です。



巾木などの内装材の突き合わせに便利!

コンパクト&抜群の作業性



LS610D

奥行きが変化しないスライド構
造の採用により、壁際での作業
を可能にしています。手狭な現
場でもコンパクトに使用でき、
持ち運びも楽に行うことができ
ます。

■充電式ウォールディテクタ WD180/181DZK



ウォールディテクタは、既存の建物にエアコンや
防犯機器などを取り付ける際、壁の中に埋設され
た鉄筋や電線、パイプを検知し、適切な穴あけ位
置を検知する作業に使用する工具です。

最大180mmの深さまで高精度に探知
高感度・大型レーダーアンテナにより、最大180mm*
の深さまでの障害物を、±5mm*の精度で探知します。

*DRYコンクリート内の直径10mm以上の鉄筋において。埋設物の大きさ、
形状や材質、探知操作する壁の材質、状態、内部構造により異なります。

「マルチ探知モード」搭載

3列分の探知結果を同時に表示できる「マル
チ探知モード」を搭載。一直線とは限らない
埋設物も探知できます。



DRYコンクリート

WETコンクリート

間仕切り

レーダービュー



乾いたコンクリート内
の埋設物探知に。

【最大探知深さ 180mm】



湿ったコンクリート内
の埋設物探知に。

【最大探知深さ 100mm】



木や石こうボード裏の
探知に。

【最大探知深さ 80mm】



ブロック内の空洞と鉄
筋など、探知対象が一
種類ではない探知に。



WD180DZK
(10.8Vスライド式)



WD181DZK
(18V・14.4V)

フルカラー液晶&
バックライト搭載
抜群の見やすさ

4.1^{大画面}
インチ



■充電式チェーンソー MUC256Dシリーズ



30mLエンジン式と同等の使用感



高出力+高回転

外側のロータが回転するアウトロータ式ブラシレスモーター搭載によりトルクを高めました。さらにギヤやクラッチを介さずダイレクトにチェーンを回転させることでエンジン式並みの高回転を実現しました。



MUC256DGF



MUC256DGR

チェーンスピード
20.0
m/秒
[1,200m/分]

〈ガイドバーの長さ〉

MUC256DGF 250mm

MUC306DGF 300mm

MUC356DGF 350mm

パワーモード搭載



太い枝や硬い枝などの切削作業時に電流リミッタを一時的に引き上げて切断スピードを向上させるパワーモードを採用しました。

優れた取り回し性



優れた重心バランスにより、軽い取り回し感で作業をサポートします。また先端部のスプロケット(歯車)で回転抵抗を減らしパワーを最大限に伝達します。



脱落防止ナット

ワンタッチで電源ON



「収納式」オイルタンクキャップ
枝の引っ掛かりを低減。

■充電式高圧洗浄機 MHW080D



防滴・防じん

8 MPa

AC100V機同等のパワー*

ハイパワーなブラシレスモーターと、新規開発のポンプにより、充電式でありながらAC100V機と同等の最大許容圧力8MPaを実現しました。自家用車や農機具の洗浄に十分なパワーと作業時間を有し、洗浄対象の強度や汚れの程度に合わせてモード切り替えも可能です。

*当社比

AC電源不要、貯め水&水道直結対応

充電式のためAC電源不要で、水道直結だけでなく、バケツなどに貯めた水からも吸い上げ可能な自吸機能付きのため、あらゆるシーンで快適な洗浄作業を行うことができます。



どこでも
洗浄

MHW080D

多機能収納ケース付

移動時に便利なハンドル+キャスター付



ハンドル

キャスター



ケース内に本機やアクセサリをスッキリ収納。

標準付属品 サイクロジェットノズル

標準付属品 洗浄ブラシ

標準付属品 泡ノズル

標準付属品 パリオスプレーランス 手持ちで圧力調整可能



タイルをパワフルに洗浄



サッシレールの洗浄に



車庫の洗浄に



車庫の洗浄に(高圧使用)



フィルタの洗浄に(低圧使用)



50L
自吸用タンクにもなる多機能収納ケース付

グローバル ネットワークの紹介

マキタ・ベトナム

会社名: Makita Vietnam Co., Ltd. (販売子会社)

設立: 2009年11月

所在地: ベトナム ビンズン省
ベンカット県
(ホーチミン市郊外)

好評の12Vmaxコンボキット



ベトナムにおけるマキタ

ベトナムは人口約9,600万人、面積は日本の約9割で、ASEANの中で経済的な影響力を高めています。マキタ・ベトナムは2009年設立以降、概ね順調に売上を伸ばし、業界をリードするブランドとなっています。近年は「Beyond the AC & Engine」と称し、製品の充電化に取り組んでいます。他社が追従できない充電式製品の圧倒的な品揃えと全国の直営サービスセンター8拠点、150軒の指定修理店のサービスにより、充電式製品の販売を飛躍的に伸ばしています。特に12VmaxコンボキットCLX224S(インパクトドライバ+ドライバドリル)は内装業者、木工業者を中心に厚い信頼を得ています。

サービス網拡充と新製品PRによる充電式製品の拡販

ベトナムのGDP成長率は2019年通年で約7%、アジアでトップの成長率となる見込みです。電動工具市場の拡大とともに製品の充電化が進んでいますが、さらなる充電式製品拡販のために、サービス網の拡充と迅速かつ効率的な新製品PRに注力しています。サービス網拡充については指定修理店の新規認定に加え、直営サービスセンターの増設を継続して行い、他社が追従できないサービス体制を目指します。また、今期より全国を7地区に分けて、半期毎に各地区で新商品セミナーを開催し、より多くのお客様へ新商品PRが行えるよう活動を実施しています。このような新たな取り組みにより充電式製品の拡販を行い、ベトナムの作業効率・環境改善に貢献してまいります。

顧客に寄り添った営業・サービス活動

物流インフラが未発達
のベトナムにおいては、迅速かつ質の高いサービス提供が課題となっています。そのため、2019年1月に8カ所目となる直営サービスセンターをホーチ



マキタ・ベトナム本社

ミン市に新規開設いたしました。ベトナム経済の中心であるホーチミン市で、少しでもお客様の近くでサービス提供、新製品・高付加価値製品のPRを行い、顧客満足度の向上に努めます。中部の経済都市ダナン市においては倉庫を拡張し、中部圏内のお客様に対する商品提供の迅速化を実行中です。また、全国どこでも同一品質のサービスを提供できるように指定修理店のレベルアップを進めるとともに、サービスの空白地域をなくすべく指定修理店の新規認定を進めています。



▲ホーチミンサービスセンター



▲新製品セミナーの様子

株式の状況

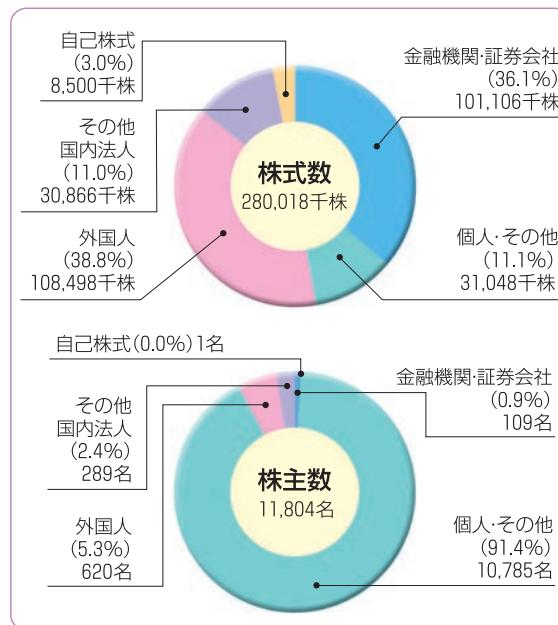
(2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 992,000,000株
- 発行済株式の総数 280,017,520株(自己株式 8,500,225株を含む)
- 株主数 11,804名
- 大株主 (上位10名)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,963	6.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,204	4.12
株式会社マルワ	8,638	3.18
株式会社三菱UFJ銀行	8,426	3.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	7,089	2.61
マキタ取引先投資会	6,599	2.43
ザバンクオブニューヨーク&メロンアズデポジタリーバンクフォーデポジタリーレシードホルダース	6,549	2.41
株式会社三井住友銀行	5,800	2.13
日本生命保険相互会社	5,353	1.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	5,103	1.87
合計	83,724	30.80

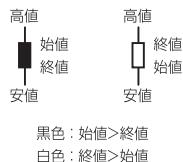
- (注) 1. 持株比率は当中間期末の発行済株式数の総数(自己株式を除く)を基に算出しております。
 2. ザバンクオブニューヨーク&メロンアズデポジタリーバンクフォーデポジタリーレシードホルダースは、ADR(米国預託証券)の受託機関であるザバンクオブニューヨーク&メロンの株式名義人です。
 3. 上記のほか、自己株式8,500千株を保有しております。

所有者別の状況



株価の推移

東京証券取引所における
株価チャート



※当社は2017年4月1日をもって、普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を実施いたしました。「当社の株価」は比較しやすいように、株式分割考慮後の値を記載しております。

利益配分に関する基本方針

当社は、年間配当金10円を下限とし、連結配当性向30%以上とすることを利益配分の基本方針としております。ただし特殊要因がある場合には、これを加減算した調整後の親会社の所有者に帰属する当期利益を基に配当額を決定いたします。また、自己株式の取得については、機動的な資本政策の遂行、資本効率の向上を通じた株主利益の増加を目的として、株価動向等を考慮した上で検討していく所存です。

会社の概要

(2019年9月30日現在)

社名	株式会社 マキタ Makita Corporation
本社所在地	〒446-8502 愛知県安城市住吉町3丁目11番8号 TEL 0566-98-1711(代表)
URL	https://www.makita.co.jp/
創業	1915年(大正4年)3月21日
設立	1938年(昭和13年)12月10日
資本金	242億561万円
事業内容	電動工具、園芸用機器、エア工具、 家庭用機器等の製造・販売
連結子会社	53社(国内2社、海外51社) 主要な子会社 マキタ U.S.A. Inc. マキタ(U.K.)Ltd. マキタ・ヴェルクツォイク G.m.b.H.(ドイツ) マキタ・フランス SAS マキタ Oy(フィンランド) マキタ LLC(ロシア) マキタ・オーストラリア Pty.Ltd. 牧田(中国)有限公司 牧田(昆山)有限公司 マキタド・ブラジル Ltda.
工場	国内3カ所 海外8カ所(中国2カ所、アメリカ、ブラジル、 イギリス、ドイツ、ルーマニア、タイ)
従業員数	連結 16,908人 単独 2,993人

取締役および監査役

※取締役会長	後藤 昌彦	
※取締役社長	後藤 宗利	
取締役常務執行役員	鳥居 忠良	生産本部長
取締役執行役員	丹羽 久能	品質本部長
取締役執行役員	富田 真一郎	購買本部長
取締役執行役員	金子 哲久	開発技術本部長
取締役執行役員	太田 智之	開発技術本部副本部長
取締役執行役員	土屋 隆	国内営業本部長
取締役執行役員	吉田 雅樹	生産本部副本部長
取締役執行役員	表 孝至	海外営業本部長
取締役執行役員	大津 行弘	管理本部長
社外取締役	森田 章義	
社外取締役	杉野 正博	株式会社LIXIL 特別顧問
常勤監査役	若山 光彦	
常勤監査役	児玉 玉朗	
監査役	山本 房弘	公認会計士
監査役	井上 尚司	弁護士

(注)1. ※印は代表取締役です。

2. 取締役 森田章義氏および杉野正博氏は当社が証券取引所の定めに基づき指定した独立役員です。

3. 監査役 児玉朗氏、山本房弘氏および井上尚司氏は社外監査役であり、当社が証券取引所の定めに基づき指定した独立役員です。

執行役員

執行役員	保田 伴晴	国内営業本部副本部長(東京営業部担当)
執行役員	坂本 伸一	アジア統括責任者
執行役員	岩倉 篤伸	国内営業本部副本部長(大阪営業部担当)
執行役員	島 添 秀樹	国内営業本部副本部長(名古屋営業部担当)
執行役員	ラリー・ペック	マキタ・コーポレーション・オブ・アメリカ責任者 兼 ブラジル工場担当
執行役員	リッチ・チャップマン	マキタU.S.A. Inc. 担当
執行役員	バリー・スマート	マキタ(U.K.) Ltd. 担当
執行役員	辻村 浩	欧州統括責任者

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

単元株式数 100株

株主確定基準日 1)定時株主総会、期末配当金 3月31日
2)中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告方法 電子公告

電子公告掲載アドレス <https://www.makita.co.jp/ir/index1.htm>
(電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞にて掲載)

上場証券市場 東京、名古屋 証券コード 6586

【お知らせ】

1.住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2.未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

ホームページを通じて、企業活動や製品に関する詳しい情報をご覧いただけます。

【製品情報】

新製品のご紹介、電動工具、ホーム用電動工具、園芸用機器等の各種カタログのほか、取扱説明書などがご覧いただけます。

【企業情報】

当社の概要や沿革のほか、会社案内・CSR報告書などがご覧いただけます。

【投資家情報】

業績の推移、決算情報、プレスリリースのほか、決算発表予定日などの情報をタイムリーに提供しています。



▲マキタトップページ
<https://www.makita.co.jp/>



▲投資家向け情報サイト
<https://www.makita.co.jp/ir/>



株式会社 マキタ

〒446-8502 愛知県安城市住吉町3丁目11番8号

Tel.0566-98-1711 (代表) Fax.0566-98-5580

<https://www.makita.co.jp/>